枝高進路通信

3学年
Vol.5

北海道枝幸高等学校
進路指導部

平成３０年９月２７日

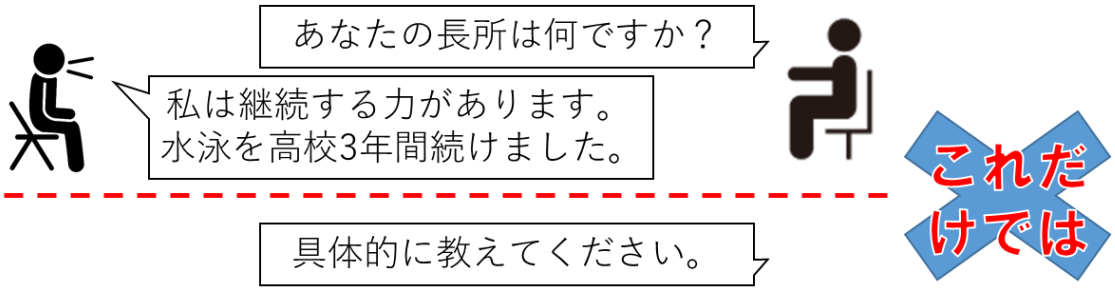
面接①

就職希望者は採用試験の渦中であり、推薦での進学希望者も面接が迫ってきます。

就職希望の生徒はこれまでも総合の時間を使い、面接練習を重ねていますが、改めて注意すべき点を確認しましょう。

話の組み立て方

結　論 → **理　由** → **根拠**（具体例）



裏付けるエピソードをプラス

例）

私は高校から水泳を始めたため、同級生とは大きな差がありました。しかし、基礎をしっかりと繰り返し練習し、部活動は1日も休まず、朝、夜には自主練もしていました。その成果もあり、少しずつタイムを確実に伸ばせるようになりました。そして3年生最後の大会では自己ベストで地区の1位になることができました。

ただし、、、、
一方的にずっと話してしまうと、面接官が「長い」と感じてしまうこともあります。
なるべく簡潔に伝え、面接官と会話のキャッチボールができることが理想です。

練習を重ね、自然に自分の考えや魅力を伝えられるようにしていきましょう。

面接②

推薦入試受験に向け、これから練習する皆さんにとっての課題は次のとおりです。何人もの先生と練習を重ねていき、いろいろな指導をうけると思います。**先生方はこれらの課題を克服するためにアドバイスしています。いろいろな意見から、自分に適した表現や内容をまとめて、本番に臨みましょう。**

テーマ	課題
①マナー、形式	面接に臨む態度、姿勢（礼儀、言葉づかい）が身につかない 緊張してうまく話せない　　例）話し言葉が混じる など
②考え方、論理性	自己分析が浅い 自分の言葉で伝えられない　→　暗記では相手に伝わらない 順番を考えて、話すことができない
③志望校分析	志望校の科目や授業を理解していない



①自覚していない「悪い癖」に気づく

どれだけ立派な意見が言えてもマナーを守れない受験生は、それだけでイメージを悪くしてしまいます。「服装の乱れ」「着席の仕方の悪さ」「長々と話しすぎ」「学生言葉」等、**無意識にしている動作が、相手に悪い印象を与えてしまう**ものがあります。なかには自覚していない「悪い癖」も多くあるため、先生の注意をよく聞き、改善しましょう。

→　進路のしおり P.46～49 で確認

②伝えたいことを可視化する

「伝えたいことがまとまらない」「何を言っているのか自分でもよくわからなくなる」という失敗はよくあります。ワークシートや今までの進路課題を使って、**伝えたいことの優先順位を明らかにし、内容同士に矛盾がないかを文章にして確認**しましょう。

③アドミッションポリシーを他大学と比較検討　見えてきた大学の特徴を把握する

アドミッションポリシーには、大学が求める学生像が書かれています。入試問題は、アドミッションポリシーに則り、「獲得したい学生」を選抜するための試験です。アドミッションポリシーを他大学と比較したり、過去の面接試験、小論文の出題を他大学と比較したりすることで、**大学の求める学生像を明確に**できます。過去の面接内容の対策にとどめず、**本来、大学が求める力を理解し、身につけて**いきましょう。

第２回社会人教育　10月11日（木）

今回の社会人教育は「社会人の基礎となる対人コミュニケーションやマナーについて考えること」が目標です。高等学校で学んだこと、そして社会人となり、どのように学びを生かすのかを講演頂きます。志望理由書、面接では「高校生活でどう学んだのか」を踏まえて答える必要がありますので、この授業を通して今までに作成した自分の回答を見直してみましょう。

講師　札幌大谷大学　平岡　祥孝　社会学部教授

昭和 31 年大阪市生まれ。農学博士。
平成 24 年より札幌大谷大学社会学部で教鞭を執る。長年、学生の就職支援やインターンシップ事業に携わり、男女共同参画、ワークライフバランス、仕事論並びに生涯学習などのテーマで講演やメディアでも活躍中。

【１０月の進路行事など】

１１日(木)　第２回社会人教育



【１０月の模試】

１２、１３日(金、土)　第２回ベネッセ・駿台記述模試
１９、２０日(金、土)　第３回全統記述模試
２６、２７日(金、土)　第３回全統マーク模試

